

# ヘルスケアデータを提供する場面におけるプライバシーに関する不安の整理

佐藤 広英（信州大学／情報通信研究機構）  
太幡 直也（愛知学院大学／情報通信研究機構）  
金森 祥子（情報通信研究機構）  
野島 良（情報通信研究機構）

## Classification of privacy concerns when providing health care data

Hirotsune Sato (Shinshu University / National Institute of Information and Communications Technology)

Naoya Tabata (Aichi Gakuin University / National Institute of Information and Communications Technology)

Sachiko Kanamori (National Institute of Information and Communications Technology)

Ryo Nojima (National Institute of Information and Communications Technology)

### 要 旨

本研究の目的は、ヘルスケアデータを提供する場面におけるプライバシーに関する不安の内容を明らかにし、整理することであった。クラウドソーシングを用いて調査対象者を募集し、ヘルスケア関連アプリケーション、病院・薬局、健康診断の三つの場面におけるプライバシーに関する具体的な不安の内容を自由記述で回答するよう求めた。分類の結果、いずれの場面でも「情報漏洩への不安」の度数が多く、病院・薬局場面では、「同空間内での名前漏洩への不安」の度数も多かった。そして、個人情報やヘルスケアデータを知られたくない相手、知られたくない情報の種類、知られたくない理由は、場面によってそれぞれ異なることが明らかとなった。

**キーワード：**ヘルスケアデータ，個人情報，プライバシーに関する不安

## 問 題

プライバシーは、他者に対する自己情報の伝達を統制した状態と定義される（Altman, 1975）。現在、インターネットやSNS（social networking services）の普及により個人情報を扱う機会が増えたことに伴い、多くの者がプライバシーに関する不安を有している。例えば、総務省（2017）の平成29年度版情報通信白書によると、個人情報を提供することに不安を感じると回答する者の割合は84.1%にのぼり、特に、「口座情報」「個人識別番号」「生体情報」「氏名、住所」「位置情報、行動履歴」「連絡先」を知られることに対する不安が高いとされる。また、金森他（2022）は、「住所」「顔写真」といった個人を識別する情報や、「暗証番号」のような暗証情報、「マイナンバー」を知られることに対する不安は、2015年から2021年にかけて、継続して高水準であることを示している。

我々は、日常生活のさまざまな場面において、プライバシーに関する不安を感じていると考えられる。佐藤・太幡（2021）は、身の回りのプライバシーに関する社会的トピックを収集し、分類を行っている。その結果、プライバシーに関する社会的トピックを、「他者からのプライバシー侵害」「企業による情報流出」「個人情報の被収集」「生活環境でのプライバシー懸念」「マスコミ、犯罪・事件に関わるプライバシーの問題」「個人情報の不正利用」「他者からの被詮索」「法律・制度上の問題」「過剰なプライバシー意識への不満」「プライバシーポリシーへの不満」の10カテゴリーに整理した。そして、全体として、SNSなどの他者とのコミュニケーション場面や、ECサイトなどのネットショッピング場面においてプライバシーに関する不安が多く言及されることを示した。

佐藤・太幡（2021）で多く言及された場面以外でも、近年の医療・ヘルスケア分野におけるデジタルトランスフォーメーションに伴い、ヘルスケアデータを提供する場面におけるプライバシーへの不安が社会的な関心を集めている。例えば、国際経済連携推進センター（2020）による新型コロナウイルスのスマートフォン向け接触確認アプリケーション「COCOA（COVID-19 Contact-Confirming Application）」の利用に関する意識調査の結果、同アプリケーション非利用者のうち47.3%がアプリケーションの利用にプライバシー上の不安があると回答しており、プライバシーに関する不安が「COCOA」の普及の停滞に影響している可能性を示唆している<sup>1</sup>。

現在、個人の医療データ・健康データを流通させて利活用するヘルスケア・エコシステムの構築が進められているなか、ヘルスケアデータを提供する場面におけるプライバシーに関する不安はますます高まっているものと考えられる。しかし、ヘルスケアデータを提供する場面において、プライバシーに関するどのような不安が感じられているのかについては明らかではない。

そこで、本研究は、ヘルスケアデータを提供する場面におけるプライバシーに関する不安の内容を明らかにする。ヘルスケアデータを提供する場面には、「COCOA」のようなヘルスケア関連アプリケーション以外にも、病院や薬局、健康診断などのオフラインの場面も考

<sup>1</sup> 厚生労働省（2022）によると、「COCOA」のダウンロード数は、2022年10月21日現在で、4,107万件にとどまっている。なお、2022年内に「COCOA」の機能が停止されることが決定している。

えられる。実際、佐藤・太幡（2021）の身の回りのプライバシーに関する社会的トピックの回答においても、病院や薬局で名前を呼ばれることや病気を知られることへの不安が挙げられている。そこで、本研究では、ヘルスケアデータを提供する場面として、ヘルスケア関連アプリケーション、病院・薬局、健康診断の三つを設定する。そして、クラウドソーシングサービスを用いて幅広い年齢層を対象とした調査を実施し、ヘルスケアデータを提供する各場面におけるプライバシーに関する不安の内容を収集し、整理していく。本研究を通して、ヘルスケアデータを提供する場面におけるプライバシーの保護の在り方についての示唆が得られるものと考えられる。

## 方 法

### 調査対象者

Yahoo!クラウドソーシングを用いて調査対象者を募集し、ウェブアンケートへの協力を依頼した。調査は、調査対象者の負担を考慮し、2回に分けて実施した。調査1では、300名（男性203名、女性96名、その他1名、年齢： $M = 47.68$ ,  $SD = 10.33$ ）から回答を収集した。調査2では、300名（男性186名、女性113名、その他1名、年齢： $M = 47.61$ ,  $SD = 11.25$ ）から回答を収集した。二つの調査で調査対象者が重複しないよう設定し、2022年8月に調査1、調査2の順に実施した。

### 質問項目

調査1では、性別と年齢を尋ねる項目とともに、ヘルスケア関連アプリケーション場面に関する質問項目を設定した。具体的には、「あなたはふだん、ヘルスケアデータを扱うスマートフォン用のアプリケーション（例えば、運動や体重の記録、お薬手帳、体温や血圧の測定・記録、医療相談など）を利用していますか。もし利用しているアプリケーションがあれば、どのようなアプリケーションを利用しているか、具体的に教えてください。」と、「ヘルスケアデータを扱うスマートフォン用のアプリケーションにおけるプライバシーに関わる情報（個人情報・健康情報など）の取り扱いについて、あなたがふだん、心配に思うことや疑問に思うこと、不満に思うことはありますか。具体的に教えてください。（アプリケーションを利用していない方は、今後利用することになった場合にどのような心配・不安があるかをお書きください）」という教示文のもと、それぞれ自由記述で回答するよう求めた。利用しているアプリケーションの種類に関する回答は、本稿では割愛する。

調査2では、性別と年齢を尋ねる項目とともに、病院・薬局場面と健康診断場面に関する質問項目を設定した。具体的には、「病院や薬局におけるプライバシーに関わる情報（個人情報・健康情報など）の取り扱いについて、あなたがふだん、心配に思うことや疑問に思うこと、不満に思うことはありますか。具体的に教えてください。」と、「学校・会社内の健康診断におけるプライバシーに関わる情報（個人情報・健康情報など）の取り扱いについて、あなたがふだん、心配に思うことや疑問に思うこと、不満に思うことはありますか。具体的に教えてください。」という教示文のもと、それぞれ自由記述で回答するよう求めた。

### データの処理

得られた回答のうち、「なし」という回答と、質問内容と関係がないと判断した回答を削

除した。最終的には、ヘルスケア関連アプリケーション場面では181名（調査対象者の60.3%）の回答、病院・薬局場面では215名（調査対象者の71.7%）の回答、健康診断場面では174名（調査対象者の58.0%）の回答を分析対象とした。

## 結果と考察

### ヘルスケア関連アプリケーション場面でのプライバシーに関する不安

181名の回答について、意味内容を基に類似した内容の回答をまとめ、第一著者がカテゴリー分類を行った。その結果、「情報漏洩への不安」「不正使用への不安」「取り扱い方法への不安」「計測の正確さへの不安」「病歴の漏洩への不安」「位置情報を取得されることへの不安」「情報管理への不安」「情報の第三者提供への不安」「体重漏洩への不安」「広告表示への不安」「被監視への不安」「その他」の12カテゴリーが得られた。各カテゴリーの度数、割合と回答例を Table 1 に示した。なお、複数のカテゴリーに跨る回答は、両方のカテゴリーにおいてカウントし、割合は分析対象とした回答数を分母とした。

「情報漏洩への不安」には、個人情報やヘルスケアデータが流出・漏洩することへの不安に関する回答を分類した。「不正使用への不安」には、個人情報やヘルスケアデータをサービス側が不正に使用することへの不安に関する回答を分類した。「取り扱い方法への不安」には、アプリケーションにおける個人情報やヘルスケアデータの取り扱い方法が分からないことへの不安に関する回答を分類した。「計測の正確さへの不安」には、アプリケーションによる運動情報・生体情報の計測の正確さへの不安に関する回答を分類した。「病歴の漏洩

Table 1 ヘルスケア関連アプリケーション場面でのカテゴリーごとの度数、割合と回答例

カテゴリー名	度数	割合	回答例
情報漏洩への不安	87	48.1%	個人情報流出/情報漏洩の危険/そのデータが本当に外部に漏れていないのか
不正使用への不安	19	10.5%	悪用される心配はないのか/勝手にデータを病院で使われていそう/個人情報が抜き取られて悪用されないか
取り扱い方法への不安	17	9.4%	個人情報の取り扱い/どれぐらいの個人情報が抜き取られているか気になる/どのように記録データが使われているか
計測の正確さへの不安	9	5.0%	本当に正確なのかわからない/運動データが正確なのか疑問/うまくデータが取れない
病歴の漏洩への不安	9	5.0%	病名を入力するのに抵抗がある/病気の内容が漏れないか心配/情報漏洩により自分の体の悪いところが知られてしまうこと
位置情報を取得されることへの不安	9	5.0%	自分の位置情報が知られるか不安/勝手に位置情報を送信されてそうで怖い/自分の居場所が誰かに特定されないか心配
情報管理への不安	9	5.0%	アプリの制作者にデータを見られているのか気になる/すべての情報がちゃんと管理されているか/セキュリティは完璧か
情報の第三者提供への不安	6	3.3%	入力したデータが保険会社等に渡って不利益な取り扱いをされる恐れ/第三者に売り買いされているのか心配
体重漏洩への不安	4	2.2%	登録した体重のデータの漏洩/体重や体脂肪データの流出が心配
広告表示への不安	4	2.2%	体に関するデータが使われて不要な広告や勧誘が来ないか/ネット販売の商品などの広告が出たりするのが不安
被監視への不安	3	1.7%	管理されているようで不安/日々の行動が記録されることへの不安
その他	20	11.0%	

への不安」には、病気・病歴の内容が流出・漏洩することへの不安に関する回答を分類した。「位置情報を取得されることへの不安」には、自分の位置情報を知られることへの不安に関する回答を分類した。「情報管理への不安」には、アプリケーションで個人情報やヘルスケアデータが適切に管理されるのか、セキュリティに問題はないかといった不安に関する回答を分類した。「情報の第三者提供への不安」には、個人情報やヘルスケアデータが第三者に売買されることへの不安に関する回答を分類した。「体重漏洩への不安」には、アプリケーションに入力している体重の情報が流出・漏洩することへの不安に関する回答を分類した。「広告表示への不安」には、アプリケーションにおいて広告が表示されることへの不安に関する回答を分類した。「被監視への不安」には、アプリケーションに常に記録・管理されていることへの不安に関する回答を分類した。

ヘルスケアデータ関連アプリケーション場面においては、「情報漏洩への不安」の度数が際立って多かった。佐藤・太幡（2021）によるプライバシーに関する社会的トピックの収集においても、「企業による情報流出」や「個人情報の被収集」といった情報流出・漏洩に関するカテゴリーの度数が多かったことから、情報流出・漏洩に対して多くの者が不安を有していることが伺える。

#### 病院・薬局場面でのプライバシーに関する不安

215の回答について、意味内容を基に類似した内容のものをまとめ、第一著者がカテゴリー分類を行った。その結果、「同空間内での名前漏洩への不安」「情報漏洩への不安」「情報管理への不安」「病歴・処方薬の漏洩への不安」「同空間内での病歴・処方薬の漏洩への不安」「関係者からの情報漏洩への不安」「取り扱い方法への不安」「マイナンバー利用への不安」「薬局で診察内容を報告することへの不安」「保険証による情報漏洩への不安」「その他」の11カテゴリーが得られた。各カテゴリーの度数、割合と回答例を Table 2 に示した。なお、複数のカテゴリーに跨る回答は、両方のカテゴリーにおいてカウントし、割合は分析対象とした回答数を分母とした。

「同空間内での名前漏洩への不安」は、病院・薬局の受付や待合室において名前を呼ばれ、周囲の人に名前を知られてしまうことへの不安に関する回答を分類した。「情報漏洩への不安」は、個人情報やヘルスケアデータが流出・漏洩することへの不安に関する回答を分類した。「情報管理への不安」は、病院・薬局内で個人情報やヘルスケアデータが適切に管理されるのか、セキュリティに問題はないかといった不安に関する回答を分類した。「病歴・処方薬の漏洩への不安」は、病気・病歴や処方薬の内容が流出・漏洩することへの不安に関する回答を分類した。「同空間内での病歴・処方薬の漏洩への不安」は、病院・薬局の受付や待合室において病気・病歴や処方薬の内容を周囲の人に知られてしまうことへの不安に関する回答を分類した。「関係者からの情報漏洩への不安」は、病院や薬局の関係者を通じて情報漏洩してしまうことへの不安に関する回答を分類した。「取り扱い方法への不安」は、病院や薬局における個人情報やヘルスケアデータの取り扱い方法が分からないことへの不安に関する回答を分類した。「マイナンバー利用への不安」は、マイナンバーと保険証が一体化することによる個人情報の漏洩・流出への不安に関する回答を分類した。「薬局で診察内容を報告することへの不安」は、病院での診察内容を薬局でも伝えなければならないことに対する不安に関する回答を分類した。「保険証による情報漏洩への不安」は、保険証に書かれ

Table 2 病院・薬局場面でのカテゴリごとの度数、割合と回答例

カテゴリ名	度数	割合	回答例
同空間内での名前漏洩への不安	40	18.6%	待合室など他人がいる場所で名前を呼ばれる／フルネームで呼ばれること／薬をもらうとき名前でなく番号で呼んでほしい
情報漏洩への不安	40	18.6%	情報漏洩／情報が漏れる可能性があるのでできるだけ情報は提供したくない／住所とか職業の個人情報漏洩が心配
情報管理への不安	32	14.9%	個人情報の管理方法がどうなっているのか／紙のカルテが目につく場所に置かれている／データの保管方法
病歴・処方薬の漏洩への不安	27	12.6%	病歴の流出／病気の内容が他人に知られること／深刻な病気なら薬の履歴等知られたくない
同空間内での病歴・処方薬の漏洩への不安	22	10.2%	他のお客さんの前で薬の説明をされる／医者の声が大きく待合室の患者に情報が筒抜け／窓口での会話が他の患者に聞こえる
関係者からの情報漏洩への不安	9	4.2%	病院関係者に既往歴がばれてしまう／他の医者や薬剤師も個人情報を見る事ができてしまう／他にかかっている病院がバレる
取り扱い方法への不安	8	3.7%	取り扱い方法がわからない／どんな個人情報がどこまでの人に見られているのか気になる
マイナンバー利用への不安	8	3.7%	保険証とマイナカードが一体化すると情報が漏れないか／マイナンバーで情報が一元化されたときに情報が漏れないか不安
薬局で診察内容を報告することへの不安	6	2.8%	薬局で医師の診断を聞かれる事／病気について薬剤師に質問されると不快
保険証による情報漏洩への不安	6	2.8%	保険証の提出で会社名がわかるのが嫌／保険証の提示して診察終わるまで手元に戻らない
その他	27	12.6%	

ている情報を病院や薬局の関係者に知られることへの不安に関する回答を分類した。

病院・薬局場面においても、「情報漏洩への不安」の度数が多く、ここでも情報流出・漏洩に対して多くの者が不安を有していることが伺える。また、「同空間内での名前漏洩への不安」の度数も同程度であった。受付や待合室において名前で呼ばれることに対して、多くの者が不安を有していることが伺える。

#### 健康診断場面でのプライバシーに関する不安

174の回答について、意味内容を基に類似した内容のものをまとめ、第一著者がカテゴリ分類を行った。その結果、「情報漏洩への不安」「情報管理への不安」「会社（人事・上司など）に知られることへの不安」「病歴の漏洩への不安」「結果の通知方法への不安」「同空間内での病歴の漏洩への不安」「会社による不正使用への不安」「会社の同僚に知られることへの不安」「関係者からの情報漏洩への不安」「取り扱い方法への不安」「同空間内での名前漏洩への不安」「その他」の12カテゴリが得られた。各カテゴリの度数、割合と回答例をTable 3に示した。なお、複数のカテゴリに跨る回答は、両方のカテゴリにおいてカウントし、割合は分析対象とした回答数を分母とした。

「情報漏洩への不安」は、個人情報や健康診断の結果が流出・漏洩することへの不安に関する回答を分類した。「情報管理への不安」は、個人情報や健康診断の結果が適切に管理されるのか、セキュリティに問題はないかといった不安に関する回答を分類した。「会社（人事・上司など）に知られることへの不安」は、個人情報や健康診断の結果を会社に知られることへの漠然とした不安や、知られることによって人事評価に悪影響を及ぼすことへの不安に関する回答を分類した。「病歴の漏洩への不安」は、病気・病歴の内容が流出・漏洩する

Table 3 健康診断場面でのカテゴリごとの度数、割合と回答例

カテゴリ名	度数	割合	回答例
情報漏洩への不安	36	20.7%	情報流出の心配／個人情報がよく漏洩する／公的機関への情報漏洩
情報管理への不安	33	19.0%	診断書類の保管の管理／卒業後しっかり消されてるか／プライバシーに関わる情報をどのように管理しているのか
会社（人事・上司など）に知られることへの不安	24	13.8%	上司や人事担当に見られ健康状態でリストラ対象にならないか／内容を会社で把握しているのか
病歴の漏洩への不安	19	10.9%	病名が他人に知られること／メンタル診断は内容が周りにバレていないか不安／病気が知られる事
結果の通知方法への不安	11	6.3%	結果は個人に送ってほしい／健康診断の結果はまとめて返ってくるので他人に見られてしまう
同空間内での病歴の漏洩への不安	10	5.7%	問診の医師が大きな声で話すと待っている人に丸聞こえ／身長体重等が後ろの人間にバレることが嫌だった
会社による不正使用への不安	10	5.7%	健康診断が悪用されていないか／目的外使用されないか不安／データが利用され飛ばされないか心配
会社の同僚に知られることへの不安	9	5.2%	社内の知人に健康状態を知られたくない／健康診断の結果を会社の人間にも見られること
関係者からの情報漏洩への不安	4	2.3%	知り合いや身内に話してしまう人もいるかと思う／看護師には詳細がバレてしまう
取り扱い方法への不安	3	1.7%	個人情報の第三者提供についての取扱いは？／取扱いに関する法整備について
同空間内での名前漏洩への不安	3	1.7%	呼び出しにときに名前で呼ばれること／名前を呼ばれるのが嫌だ
その他	17	9.8%	

ことへの不安に関する回答を分類した。「結果の通知方法への不安」は、会社による健康診断の結果の通知方法に対する不安に関する回答を分類した。「同空間内での病歴の漏洩への不安」は、健康診断の際に病気の内容を周囲の人に知られてしまうことへの不安に関する回答を分類した。「会社による不正使用への不安」は、健康診断の結果を会社側が不正に使用することへの不安に関する回答を分類した。「会社の同僚に知られることへの不安」は、健康診断の結果を会社の同僚に知られることへの不安に関する回答を分類した。「関係者からの情報漏洩への不安」は、健康診断の実施機関の関係者を通じて情報漏洩してしまうことへの不安に関する回答を分類した。「取り扱い方法への不安」は、健康診断の実施機関や会社における個人情報や健康診断の結果の取り扱い方法が分からないことへの不安に関する回答を分類した。「同空間内での名前漏洩への不安」は、健康診断の際に受付や待合室において名前を呼ばれ、周囲の人に名前を知られてしまうことへの不安に関する回答を分類した。

健康診断場面においても、「情報漏洩への不安」の度数が多く、ここでも情報流出・漏洩に対して多くの者が不安を有していることが伺える。次いで、「情報管理への不安」、「会社（人事・上司など）に知られることへの不安」の度数が多かった。

#### ヘルスケアデータを提供する各場面の特徴

ここでは、ヘルスケアデータを提供する各場面の特徴について整理する。各場面におけるプライバシーに関する不安について、個人情報やヘルスケアデータを知られたくない相手、知られたくない情報の種類、知られたくない理由として想定される内容を第一著者が整理したものを Table 4 に示した。

Table 4 各場面におけるプライバシーに関する不安の整理

	アプリケーション	病院・薬局	健康診断
相手	不特定多数, 第三者	不特定多数, 同空間内の他者, 関係者	不特定多数, 会社の上司・人事・同僚, 同空間内の他者, 関係者
情報の種類	個人情報, 位置情報, 生体情報, 病歴, 体重	個人情報, 病歴	個人情報, 病歴
理由	個人を特定される, 不正使用される, 取り扱い方法が不明	個人を特定される, 不正使用される, 取り扱い方法が不明	個人を特定される, 人事評価に影響する, 取り扱い方法が不明

ヘルスケア関連アプリケーション場面では、他の場面と比較して、「情報漏洩への不安」の度数が多かった。ヘルスケア関連アプリケーションには、その種類によっては位置情報や生体情報など、さまざまな情報を扱うものがあり、プライバシーの対象となる情報の種類が多岐に渡っている。こうしたプライバシーの対象となる情報の種類の多さが、情報漏洩への不安につながった可能性が考えられる。また、「取り扱い方法への不安」や「不正使用への不安」の度数が他の場面と比較して多いことから、アプリケーションにおいて個人情報やヘルスケアデータがどのように取り扱われるのか分からないことが、情報漏洩への不安につながった可能性も考えられる。アプリケーションには、それぞれ個人情報の取り扱い方針が記されたプライバシーポリシーが存在しており、アプリケーションを提供する事業者によるデータの取り扱い方法が記載されている。しかし、プライバシーポリシーを読んで確認するユーザーは実際には少なく、同意取得の仕組みが形骸化していることが指摘されている（e.g., Cate, 2010）。近年、プライバシーポリシーの内容理解を促す方法に関する研究（e.g., Harkous et al., 2016; Kanamori et al., 2022）も行われており、プライバシーポリシーの内容理解を促すことが情報漏洩への不安の解消へとつながる可能性が考えられる。

病院・薬局場面では、「情報漏洩への不安」と並んで、「同空間内での名前漏洩への不安」の度数が多かった。病院・薬局や健康診断のようなオフラインの場面では、個人情報やヘルスケアデータを知られたくない相手として、同空間内の他者が含まれる点が特徴的であった。個人情報保護委員会・厚生労働省（2022）の医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスによると、「受付での呼び出しや、病室における患者の名札の掲示などについては、患者の取り違え防止など業務を適切に実施する上で必要と考えられるが、医療におけるプライバシー保護の重要性に鑑み、患者の希望に応じて一定の配慮をすることが望ましい」とされている。また、個人情報保護委員会（2016）によると、改正個人情報保護法において、病歴（診療情報や調剤情報、健康診断情報なども含む）は要配慮個人情報と定められており、本人の同意のない取得や第三者提供は禁止されている。すなわち、病院・薬局側は、病歴や処方薬が周囲に漏洩することがないように、患者のプライバシーに対して十分な配慮を行う義務があるといえる。しかし、本研究で得られた回答をみると、プライバシーに対する十分な配慮がなされていないケースが多く存在している可能性が伺える。

健康診断場面では、他の場面では見られなかった「会社（人事・上司など）に知られることへの不安」の度数が多かった。健康診断場面では、個人情報やヘルスケアデータを知られ

たくない相手として、会社の上司や人事担当者が含まれる点が特徴的であった。労働安全衛生法では、事業者は、健康診断の結果に基づいて、必要に応じて就業制限を行うなどの措置をとらなければならないとされており（厚生労働省、2017）、主に、人事労務部門の担当者や職場の管理監督者などが、社員の健康診断の結果を確認することになる。健康診断の結果を会社が確認することは義務であるものの、それによって人事評価を下げられるのではないかという不安を多くの者が有していると想定される。また、健康診断の結果を通知する際、健康状態に問題があることを周囲に知られてしまう通知の仕方や、健康診断の結果の管理の杜撰さを言及する回答もみられた。前述の通り、改正個人情報保護法において、病歴は要配慮個人情報であり（個人情報保護委員会、2016）、本人の同意のない取得や第三者提供は禁止されている。会社側には、健康診断の結果が周囲に知られないよう社員のプライバシーに対して十分な配慮を行う義務があるといえるだろう。

### 本研究のまとめと今後の課題

本研究は、ヘルスケアデータを提供する場面におけるプライバシーに関する不安の内容を明らかにし、整理することを目的とした。本研究の結果、いずれの場面でも「情報漏洩への不安」の度数が多く、病院・薬局場面では、「同空間内での名前漏洩への不安」の度数も多かった。そして、個人情報やヘルスケアデータを知られたくない相手、知られたくない情報の種類、知られたくない理由は、場面によってそれぞれ異なることが明らかとなった。

本研究の貢献として、従来検討されてこなかったヘルスケアデータを提供する場面におけるプライバシーに関する不安の内容を具体的に示した点が挙げられる。今後、患者を中心としたヘルスケア・エコシステムの構築が進んでいくなかで、ヘルスケアデータ提供者のプライバシーに関する不安を取り除いていくことが必要になるだろう。本研究で得られた知見を踏まえると、ヘルスケアデータ提供者のプライバシー保護に向けて、次の二点が重要であると考えられる。第一に、ヘルスケアデータ提供者に対する、アプリケーションを提供する事業者によるデータの取り扱い方法に関する十分な説明である。自分の個人情報やヘルスケアデータが、データ収集者側にどのように取り扱われるのかを分からないままにデータ提供に同意しているケースがあると想定される。データ収集者側は、自身の個人情報やヘルスケアデータがどのように利活用されるのかをデータ提供者側に理解させるよう努める必要があると考えられる。第二に、ヘルスケアデータ提供者に対する空間的なプライバシーへの配慮である。現在プライバシーへの関心の多くは、主にオンライン上のデータに対する情報的なプライバシーである。しかし、病院・薬局、健康診断のようなオフラインの場面においては、空間的なプライバシーに関する不安が多いと想定される。実際に、本研究においても、空間的なプライバシーに関する不安に言及する回答が多く得られている。情報的なプライバシーへの配慮だけでなく、空間的なプライバシーに対する配慮も検討する必要があるだろう。

## 引用文献

- Altman, I. (1975). *The environment and social behavior: Privacy, personal space, territory, crowding*. Monterey, CA: Brooks/Cole.
- Cate, F. H. (2010). The limits of notice and choice. *IEEE Security Privacy*, 8, 59-62.

- Harkous, H., Fawaz, K., Shin, K. G., & Aberer, K. (2016). PriBots: Conventional privacy with chatbots. *Workshop on the Future of Privacy Indicators, at the Twelfth symposium on Usable Privacy and Security (SOUPS) 2016*. Retrieved from <https://www.usenix.org/conference/soups2016/workshop-program/wfpn/presentation/harkous> (2022年10月31日)
- 金森祥子・佐藤広英・太幡直也・野島 良 (2022). プライバシー情報提供可否に関する調査：経年変化に関する考察 暗号と情報セキュリティシンポジウム2022 (SCIS2022).
- Kanamori, S., Sato, H., Tabata, N., & Nojima, R. (2022). Construction of a support tool for user reading of privacy policies and assessment of its user impact. *Proceedings of the 8th International Conference on Information Systems Security and Privacy (ICISSP2022)*, 412-419.
- 国際経済連携推進センター (2020). 接触確認アプリ COCOA とプライバシー保護についての調査結果 Retrieved from <https://www.cfiec.jp/jp/pdf/pr/001-2020-10-27-cfiec.pdf> (2022年10月31日)
- 個人情報保護委員会 (2016). 第10回 個人情報保護委員会 資料1「要配慮個人情報に関する政令の方向性について」 Retrieved from [https://www.ppc.go.jp/files/pdf/280603\\_siryoul.pdf](https://www.ppc.go.jp/files/pdf/280603_siryoul.pdf) (2022年10月31日)
- 個人情報保護委員会・厚生労働省 (2022). 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス Retrieved from [https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/iryokaigo\\_guidance/](https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/iryokaigo_guidance/) (2022年10月31日)
- 厚生労働省 (2017). 健康診断結果に基づき事業者が講ずべき措置に関する指針 Retrieved from <https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/kouji/K170417K0020.pdf> (2022年10月31日)
- 厚生労働省 (2022). 新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) COVID-19 Contact-Confirming Application Retrieved from [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html) (2022年10月31日)
- 佐藤広英・太幡直也 (2021). プライバシーに関する社会的トピックの整理 信州大学人文科学論集, 8(2), 43-51.
- 総務省 (2017). 情報通信白書平成29年版 Retrieved from <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/pdf/index.html> (2022年10月31日)

## 付 記

本研究の分析にあたり，公益財団法人未来工学研究所の笠井祥氏，林隆臣氏にご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

(2022年10月31日受理，11月10日掲載承認)